

令和3年7月20日(火)

四国地方整備局土佐国道事務所

夏休みを前に **E55** 高知南国道路(高知自動車道～高知南 IC)の開通後の状況をお知らせ
 渋滞緩和に加え医療・防災面など地域の安全性が更に向上!

令和3年2月27日(土)に開通したE55高知東部自動車道高知南国道路(高知自動車道～高知南 IC)の開通後の交通量や整備効果についてお知らせします。

POINT 交通 ・開通区間に約 8,700 台/日が利用! 資料-1

○今回開通した区間のうち、高知中央 IC～高知南 IC の交通量は、約 8,700 台/日

POINT 渋滞 ・周辺道路の交通量が最大3割減少!
 ・多くの交差点で渋滞が解消・緩和し、旅行速度が向上! 資料-2

○周辺道路の交通量が1～3割減少し、「大津バイパス美術館通り交差点」等の渋滞が解消・緩和
 ○並行現道で、旅行速度が約 6km/h 向上

POINT 拠点7ヶ所 ・空港利用者へ整備効果をヒアリング
 「所要時間の短縮や想定した時間内に到着できることを実感」 資料-3

○拠点である高知新港や高知龍馬空港へのアクセス性の向上(所要時間短縮・定時性向上)により、空港利用者が効果を実感。

POINT 医療 ・救急搬送スタッフへ整備効果をヒアリング
 「傷病者への負担が軽減、車内での応急処置状況も改善」 資料-4

○搬送時の負担が少ない高知南国道路により、消防関係者が効果を実感。

POINT 防災 ・WEB アンケートで「高知南国道路の開通により、7割の方が災害に対する安心感が向上した」と回答 資料-5

○R3.6にWEBアンケートを実施。418名の方から回答がありました。(詳細は資料-5へ)

※今後も引き続き調査を行い、効果を検証していきます。

土佐国道事務所ホームページ <http://www.skr.mlit.go.jp/tosakoku/>

Twitter 情報 https://twitter.com/mlit_tosa/



ホームページ



Twitter

本施策は、四国圏広域地方計画【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】及び【No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト】の取組に該当します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 土佐国道事務所 TEL 088-884-0359 (代表)

副所長(改築) くすのき 楠 えいじ 英二 (内線204)

○調査課長 ひょうどう 兵頭 かずし 一志 (内線451)

【交通量】高知南国道路（高知自動車道～高知南IC） 開通後の交通状況

○今回開通した高知南国道路（高知自動車道～高知南IC）と並行する県道44号高知北環状線の断面②（合計）交通量は、約24,200台/日で、高知南国道路に約4割（約8,700台/日）が転換するとともに、開通済区間の高知南国道路の利用も促進。

＜位置図＞



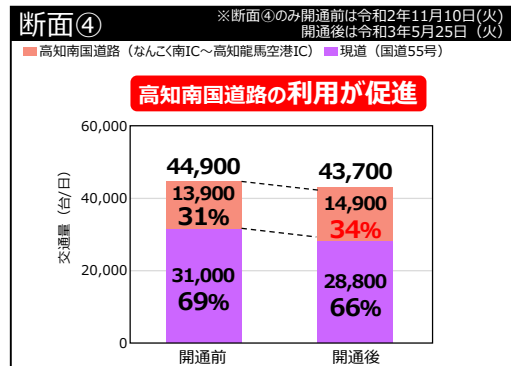
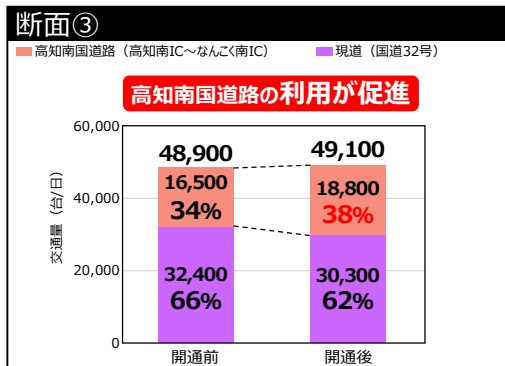
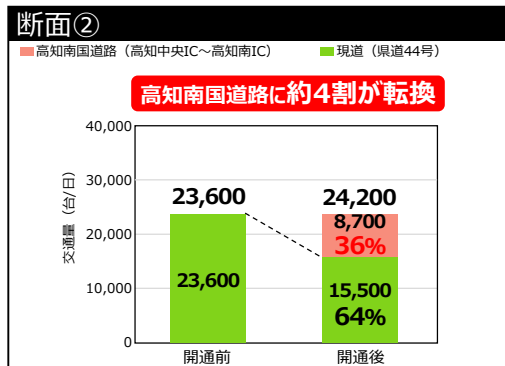
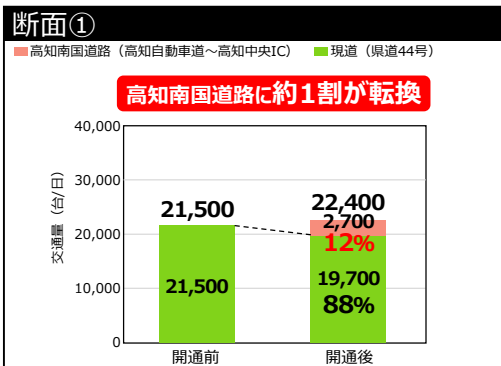
高知自動車道～高知南IC間の交通状況



＜平面図＞

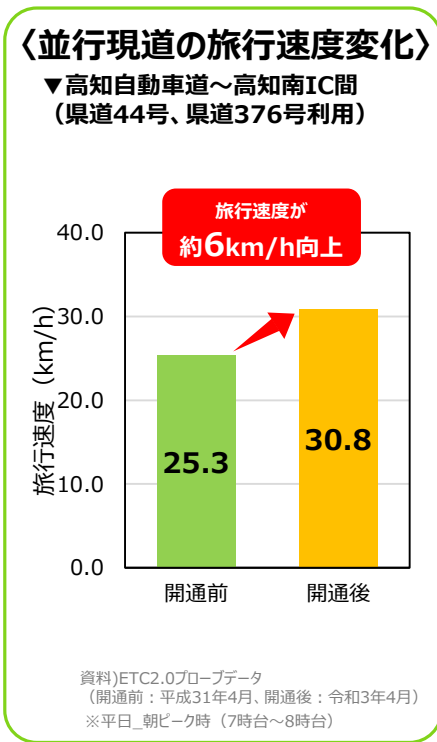


資料)交通量調査結果【現道】 (開通前:令和2年11月12日(木)、開通後:令和3年6月1日(火))
 トラカンデータ【高知南国道路】(開通前:令和2年11月12日(木)、開通後:令和3年6月1日(火))
 ※交通量調査結果の日交通量は、7時台～18時台の12h調査値にH27全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率を乗じて算出

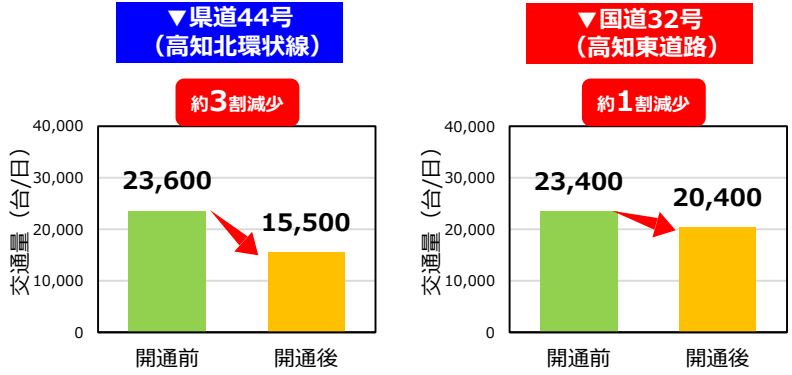


【整備効果】周辺道路の混雑緩和及び旅行速度の向上（1/2）

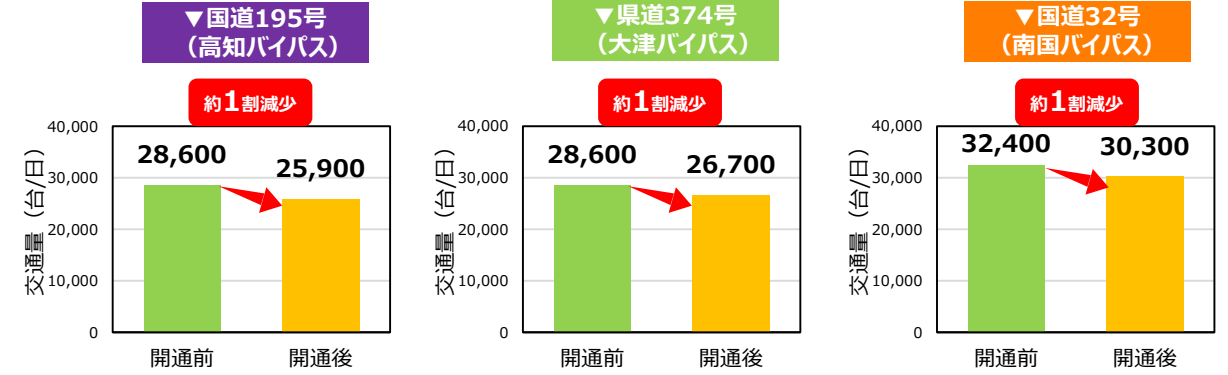
- 高知南国道路に並行する南北方向・東西方向の周辺道路では、**交通量が約1～3割減少**。
- 今回開通した高知南国道路（高知自動車道～高知南IC）の**並行現道では旅行速度が向上（約25.3→30.8km/h）**



《南北方向の断面交通量の変化》



《東西方向の断面交通量の変化》

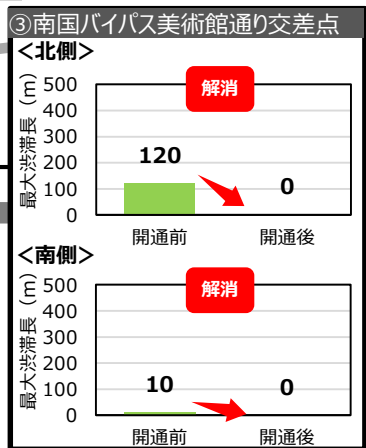
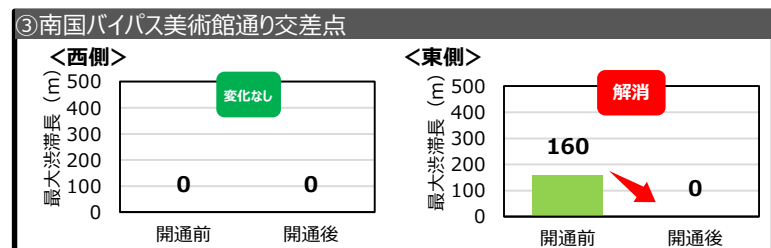
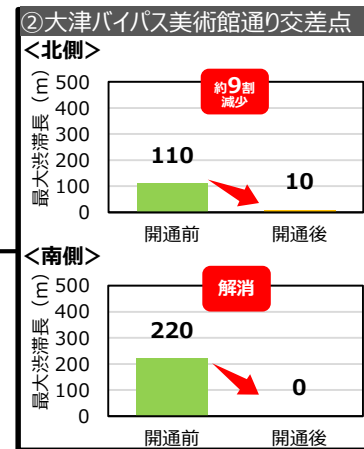
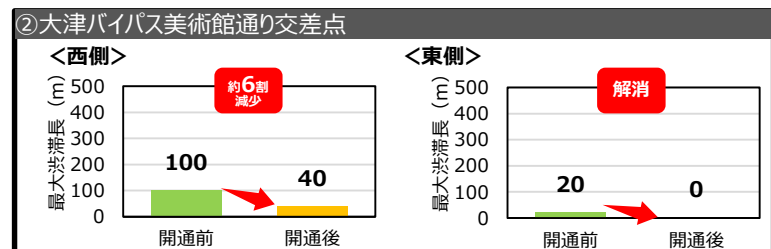
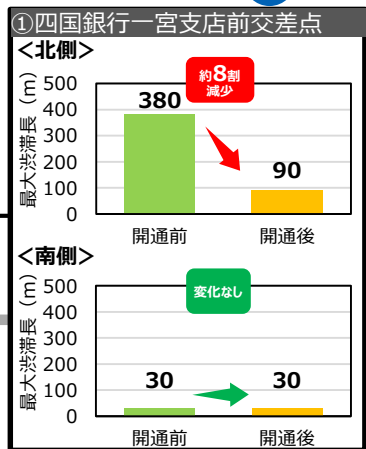
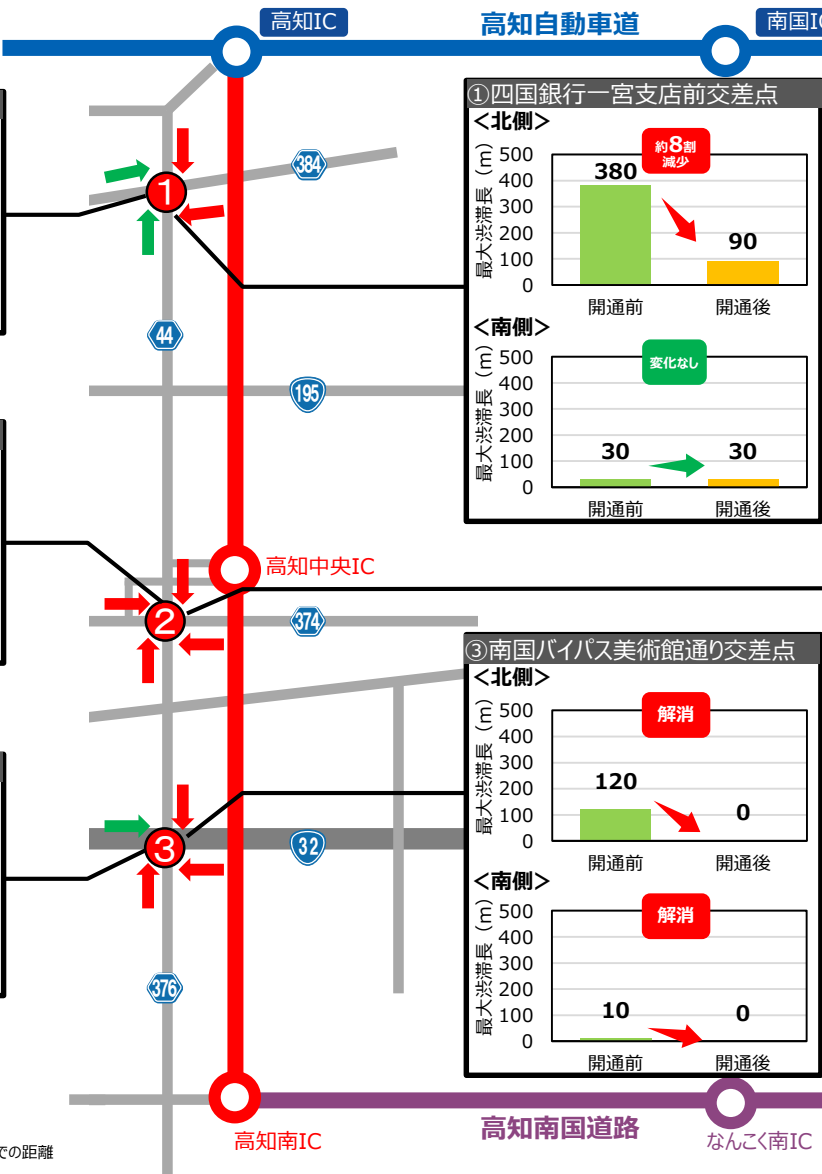
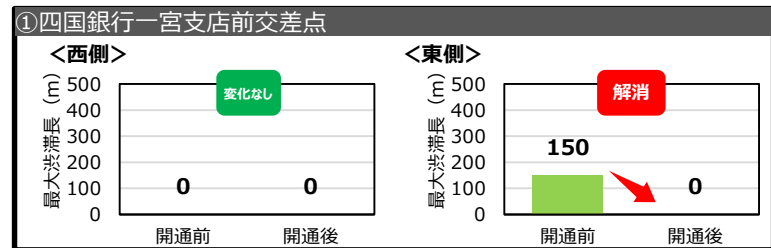


※交通量調査結果の日交通量は、7時台～18時台の12h調査値にH27全国道路・街路交通情勢調査の昼夜率を乗じて算出

資料)交通量調査結果 (開通前:令和2年11月12日(木)、開通後:令和3年6月1日(火))

○高知南国道路に並行する南北方向の周辺道路（県道44号、県道376号）及び東西方向の周辺道路（国道32号、県道374号、県道384号）では、**渋滞長が大幅に減少**。

〈周辺道路の渋滞長の変化〉



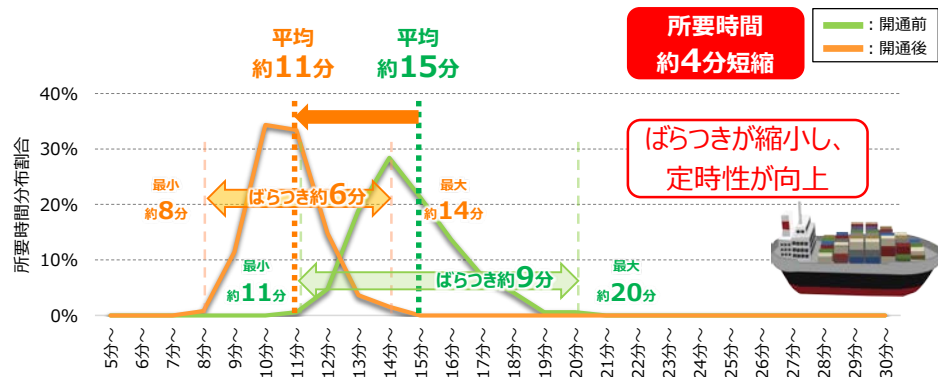
資料) 渋滞長調査結果（最大渋滞長）時間帯7:00～10:00、16:00～19:00（6時間）
 開通前：令和2年11月12日（木）
 開通後：令和3年 6月 1日（火）
 渋滞長とは、交差点の信号が青から赤に変わったとき、青信号の間に停止線を通してできなかった最後尾の車両までの距離

○高知南国道路の全線開通により、高知新港及び高知龍馬空港と高知自動車道の**アクセス性が向上**（所要時間短縮・定時性向上）。空港利用者が**所要時間の短縮**や**想定した時間内に到着できることを実感**。

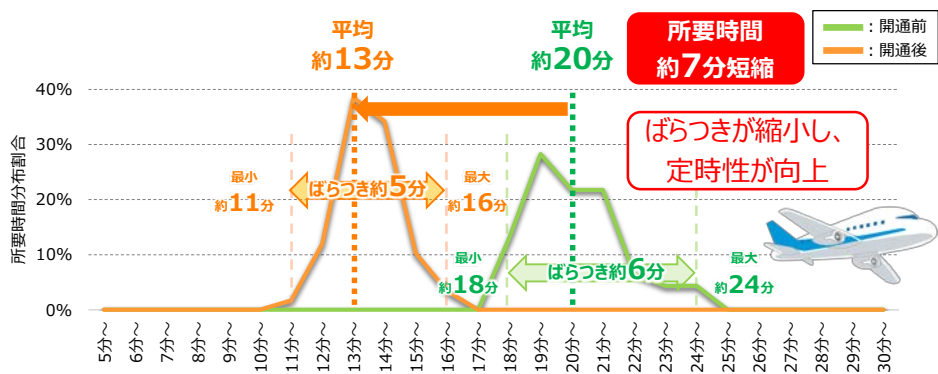
〈拠点へのアクセス状況〉



▼高知新港と高知自動車道の所要時間の変化



▼高知龍馬空港と高知自動車道の所要時間の変化



資料)ETC2.0プローブデータ (開通前:平成31年4月、開通後:令和3年4月) ※平日

【空港利用者の声】

・出張等で高知龍馬空港を利用する際、市内の一般道を通ると、30分は余裕をみておかないと不安だった。今回の開通により、20分あれば安心して到着できるようになった。到着時間の見通しが立てやすく、ありがたい。



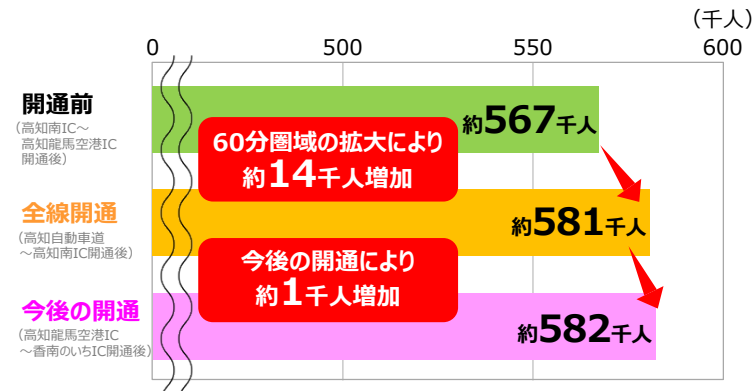
資料)ヒアリング調査 (R3.7)

- 高知南国道路の全線開通による高知県北部・西南部からの速達性向上により、60分圏域が拡大。
- 路面状況が良い高規格道路を搬送に利用することで、傷病者への振動負担の軽減や車内での応急処置状況が改善。
- 今後の南国安芸道路（高知龍馬空港IC～香南のいちIC）開通により、高知県東部方面への更なる60分圏域の拡大に期待。

〈高知医療センターへの60分圏域の変化〉



▼高知医療センターへ60分以内に到達できる人口



資料) 開通前: H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時旅行速度 (なんごく南IC～高知龍馬空港IC間は民間プローブデータ (H28.9-11) 混雑時旅行速度)
 開通後: H27全国道路・街路交通情勢調査 混雑時旅行速度 (高知南国道路 (高知自動車道～高知南IC)、南国安芸道路 (高知龍馬空港IC～香南のいちIC) は規制速度 (70km/h))
 人口: H27国勢調査500mメッシュ人口

【消防関係者の声】

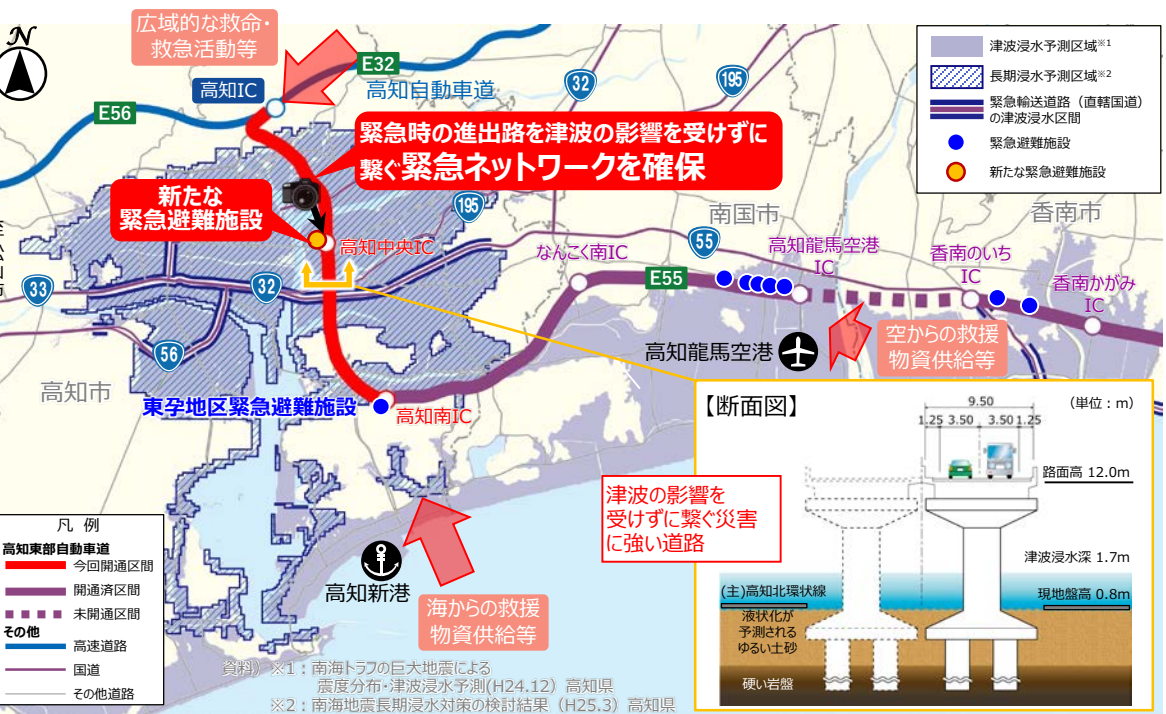
- ・救急搬送時における振動が軽減され、傷病者への負担軽減とともに、車内での応急処置が実施しやすくなっています。
- ・搬送及び帰署時間が短縮され、以前よりも次の出動体制を早期に整えることができるようになりました。
- ・交差点等での事故発生リスクが軽減され、傷病者を安全かつ迅速に医療機関に搬送することができ、安心です。



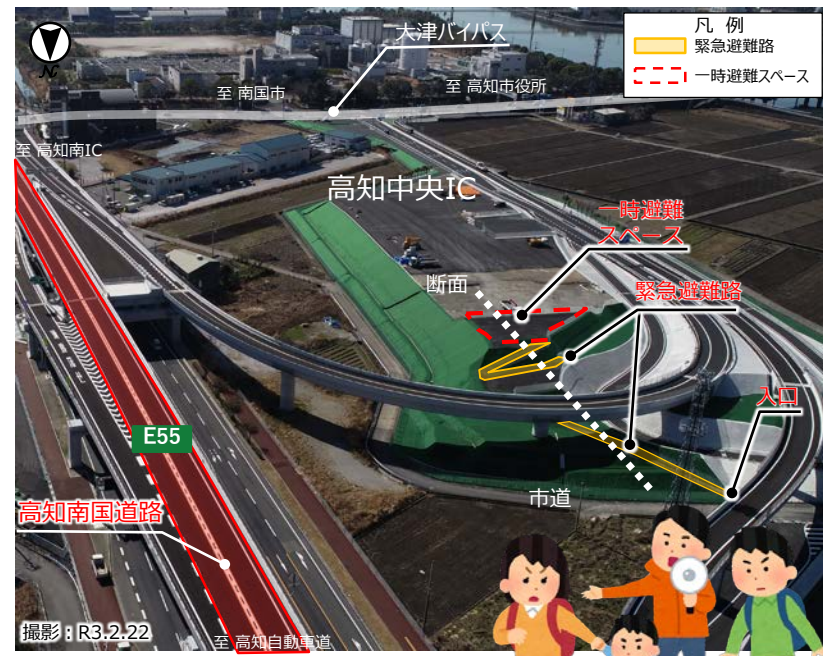
資料) ヒアリング調査 (R3.5)

- 高知南国道路の全線開通により、緊急時の進出拠点となる高知自動車道、高知新港、高知龍馬空港を津波の影響を受けずに繋ぐ緊急ネットワークを確保。
- 加えて、新たに併設された緊急避難施設により防災機能が向上し、地域住民の災害に対する安心感が向上。

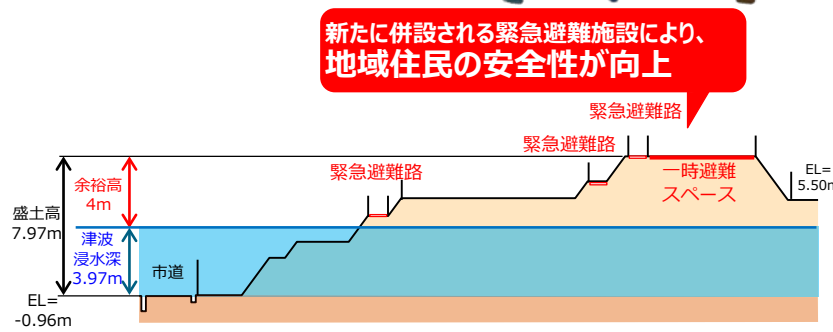
〈災害に強い道路の形成及び新たな緊急避難施設が併設〉



▼高知南国道路に新たに併設された緊急避難施設（高知中央IC付近）



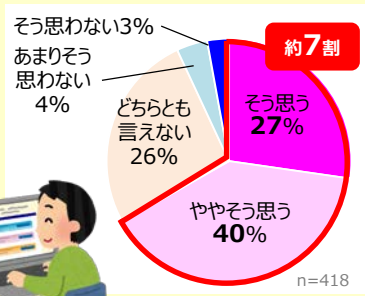
▼道路断面イメージ（高知中央IC付近）



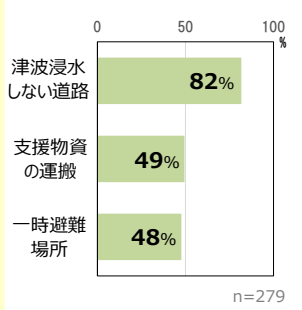
【地域住民の声】

- ・地域住民の7割は、災害に対する安心感が向上。
- ・具体的には『津波浸水しない道路、支援物資の運搬、一時避難場所の設置』に安心感を覚えると回答。

▼高知南国道路の防災機能に対する安心感の有無



▼安心感を覚える主な防災機能



資料) Webアンケート調査 (R3.6) 高知南国道路を利用した418名の回答 思うと回答した279名の回答

資料) 津波浸水深: 南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測(H24.12) 高知県